

H307		メディアリテラシー	
英名科目名	Media Literacy		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	山崎 晶（総合社会学部総合社会学科）		
開講期間	2021年09月20日(月)～2022年01月18日(火) 2講時 10時40分～12時10分（毎週月曜日） 休講12月27日（月）～1月5日（水） 開講 9月20日(月・祝)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	月曜日 2講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場			
授業定員	100		
単位互換生定員	20	京カレッジ生定員	20
試験・評価方法	授業内課題75%、期末課題25%		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科50,000（登10,000 履40,000）		
別途負担費用			
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p><b>講義概要</b></p> <p>「メディアリテラシー」とは、不特定多数の人に向けた情報の受け取り方や、発信の仕方の能力を意味する。</p> <p>私たちは、おびただしい情報に囲まれて暮らしている。日常生活でそれを意識することはほとんどないかもしれない。しかし、私たちは無数の情報のから自分に必要なものと不要なものを振り分けている。そうした状況下で、今「不要な情報」として切り捨てられやすいのが政治や経済に関するニュースである。ニュースに関心がないという人もいるし、間違っただけ情報があふれているから信頼できないという人もいる。</p> <p>本講義では、なぜニュースは必要なのか、ニュースの読み取り方、また望ましい情報発信とはどのようなものを学ぶ。それは社会に出るうえで欠くことのできない基礎体力を作るという意味でも重要といえるだろう。</p> <p>事例として時事問題を扱うことが多いため、授業内容が多少変更になる場合がある。</p>			
<p><b>到達目標</b></p> <p>1．5つの主要なマスメディアの特性が説明できるようになる。</p> <p>2．マスメディアからの情報がどのような意図で作成されているのかが読み解けるようになる。</p> <p>3．マスメディアの情報によって社会が分断される過程を説明できるようになる。</p>			
講義スケジュール			
<p>1 メディアとは何か？メディア・リテラシーとは何か？</p> <p>2 私たちのメディア生活</p> <p>3 ニュースは何のためにあるのか？</p> <p>4 視覚がもたらす情報の力</p> <p>5 メディアと演出1 メディアが映し出すものから検討する</p> <p>6 メディアと演出2 メディアが取り上げるものを検討する</p> <p>7 メディアと演出3 メディアが論じるものを検討する</p> <p>8 ニュースバリューとは</p> <p>9 メディアの産業構造</p> <p>10 私たちとケータイ1 固定電話から移動体通信へ</p> <p>11 私たちとケータイ2 情報化社会化と緩やかな監視</p> <p>12 私たちとケータイ3 電子的監視と信用社会</p> <p>13 情報源としてのインターネット1 ネットの仕組みから考える</p> <p>14 情報源としてのインターネット2 「ポスト真実」の時代</p> <p>15 授業全体のふりかえり、および到達度の確認</p>			
教科書	特に定めなし。		
参考書	長谷川 一、村田 麻里子（2015）『大学生のためのメディアリテラシー・トレーニング』三省堂。		